

静岡地域3市2町が消防救急広域化に合意

◎消防総務課 ☎37717172
◎静岡地域消防救急広域化運営協議会
事務局 ☎05425550125

「静岡地域消防救急広域化運営協議会」が11月11日、静岡市役所で開かれました。この協議会には、静岡・島田・牧之原市および吉田・川根本町の3市2町の首長が出席。平成28年4月に消防救急の広域化を目指すことと、広域化後の消防の円滑な運営を確保するために策定された「広域消防運営計画」が承認されました。

計画などの詳細については、協議会のホームページをご覧ください。今後もし引き続き広域化に向けた準備作業

を進めていきます。

□ <http://www.city.shizuoka.jp/deps/shobokoukika/index.html>

※島田市ホームページから
も、ご覧いただけます。
ただけです。
トップページ
下部にある協議会のバナー
をクリックしてください。



合意について発表する5市町の首長

内陸部の開発を目指して企業誘致説明会を開催

◎商工課 ☎367125

市では11月25日、プラザおおるりで県内の金融機関や建設会社などを対象にした企業誘致説明会を開催。関係者ら約120人が参加しました。これは、県が進めている内陸フロンティア構想を踏まえ、市への企業誘致の促進を図るために開催したものです。

説明会では市の担当者が、豊富な地下水や災害に強い地盤、利便性の高い交通アクセスなど、市の企業誘致の優位性や既存の民間遊休土地などを紹介。また、新東名島田金谷IC周辺や

中河・東中瀬地区の整備構想、市の企業立地補助や融資制度などの支援事業など、内陸フロンティアの開発を目指す取り組みを説明しました。



説明会であいさつする染谷市長

市と民間事業者との間で防災協定を締結

◎防災課 ☎367143

市と中部電気保安協会静岡支店は、災害時における電気の保安に関する協定を10月8日に締結しました。市役所で行われた調印式では、染谷市長と鈴木広信支店長が協定書を取り交わしました。

協定は「地震や風水害などの災害時に、公共施設の電気設備の迅速な復旧を図る」「避難所などでの電気の安全使用について必要なアドバイスを行う」「市主催の総合防災訓練に参加し、大規模災害時に備えた電気の安全使用などの啓発活動を行う」などといった内容です。

市では、これまでも「救助に必要な物資などの提供」「要援護者等の避難場所等としてのホテルの活用」などに関する協定を、民間事業者と締結しています。平成25年度の協定締結状況は、次のとおりです。(11月末現在)

- ①(株)エンチャー(富士市)／災害救助に必要な物資の提供
- ②(有)増田屋(阪本)／ホテル(ますだや)を要援護者等の避難場所等として活用
- ③(株)清水(本通一丁目)／ホテル(ホテルワン・ツー・スリー島田)を要援護者等の避難場所等として活用
- ④(株)静鉄ストア(静岡市葵区)／災害救助に必要な物資の提供

⑤協同組合島田建友会(御飯屋町)／災害時における公共土木施設の機能の確保および回復を図るための応急復旧工事

⑥静岡県行政書士会(静岡市葵区)／大規模災害時に被災者支援のための無償による行政書士業務

⑦(株)パロー(岐阜県多治見市)／災害時における物資および一時避難場所(パロー井口店・パロー静岡総合センター)の提供

⑧一般財団法人中部電気保安協会(静岡市葵区)／災害時における公共施設等の迅速かつ適切な機能の維持および復旧

⑨(株)エフ・イー・ティシステム(東京都千代田区)／ホテル(ホテルセレクトイン島田駅前)を要援護者等の避難場所等として活用



協定書を交わした染谷市長と鈴木支店長

タウンミーティングに市民388人が参加

◎企画調整課 ☎36・7120

9月から10月にかけて、市長と市民の皆さんが、市政運営などについて意見交換を行うタウンミーティングを市内7カ所で開催しました。

市民の皆さんからいただいた意見は、後期基本計画の策定や今後の市政運営の参考にさせていただきます。主な意見と回答は、次のとおりです

Q 市民病院の医療体制の充実は？

A よりよい医療の提供には、病院施設の整備に加え、医師や看護師の確保が重要である。奨学金制度の運営や住環境の整備により、医療従事者の確保・定着を目指したい。

Q 小中学生の学力向上については？

A 豊かな心を育てる教育を積み重ね、義務教育期間内で伸びしろのある子どもが育っていると思う。今後

市公式ツイッター「アラートサービス」を開始

◎広報課 ☎36・7133

島田市公式ツイッターでは、新機能のアラートサービスを開始しました。ツイッター・アラートサービスは、緊急情報などを配信する際に、アラート受信を設定しているスマートフォンへ「プッシュ通知」を送ることができるようになります。通常の配信とは違



川根地区でのタウンミーティング

も、学校での取り組み力を入れていくので、地域や家庭の協力をお願いしたい。

Q 新東名島田金谷IC周辺の土地利用は、どうなるの？

A 周辺農地に500億円以上の農業投資がされており、農地以外の用途への転用は難しいところではあるが、地権者の意向を広くお聞きして、農業の継続や6次産業化などについて検討していきたい。

い、ツイッターを開くことなく内容を確認でき、緊急情報を即時かつ気付きやすい形で受信することができます。

ツイッターアカウントをお持ちの場合は、<https://twitter.com/ShimadaCity/alerts/>にアクセス後、ログインしてから「@ShimadaCity」からのアラートを受信する」のボタンをクリックしてください。

子育てを応援する自動販売機を市内に設置

◎児童課 ☎36・7159

市では、飲料メーカーと自動販売機設置先企業などの協力を得て「島田市子育て応援自動販売機」を設置しています。この自動販売機の売上金の一部は、市に寄附されます。いただいた寄附金は、市の子育て支援施策の事業費に活用されます。今後も、皆さんのご利用をお願いします。

これまでに市役所をはじめ、こども



市役所の自動販売機

広報しまだ「フェイスブック」の運用を開始

◎広報課 ☎36・7118

「広報しまだ」では、11月15日の正午から「フェイスブック」の運用を始めました。広報しまだフェイスブックページでは、市内外に島田市の「いいところ」の情報（地域の話題やイベントなど）を発信。投稿に対しての「いいね！」ボタンやコメントなどを通じて、皆さんとのコミュニケーションを図っていきます。

広報しまだフェイスブックのコンセプトは、①市や地域の魅力を伝える ②季節感を伝える ③広報しまだやイベントなどの舞台裏を紹介するの3点。

初回の投稿では、広報しまだ11月号の特集ページを紹介。その後も、イベントの模様などを

投稿していきます。12月1日現在で、180人が広報しまだのフェイスブックの「いいね！」ボタンを押してくれています。今後も、市のさまざまな「いいところ」を、一つでも多く発信していきます。

また市では、島田市博物館や「茶道部合宿inしまだ」のフェイスブックを運用しています。是非、お気軽にアクセスして、最新情報をご覧ください。



広報しまだフェイスブック